

製品名: GNB2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe84540**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ICC,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.71mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ICC 1:50-1:200,FC 1:20-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 37 kDa ; Observed MW: 35 kDa

抗原情報

遺伝子名	GNB2
別名	Gnb2; Gnb2l1; RACK1; Transducin beta chain 2;;GNB2
遺伝子 ID	
SwissProt ID	P62879
免疫原	ヒト GNB2 由来の合成ペプチド

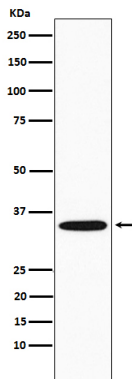
背景

グアニンヌクレオチド結合タンパク質 (G タンパク質) は、様々な膜貫通シグナル伝達系において、調節因子または伝達因子として関与しています。β鎖とγ鎖は、GTPase 活性、GDP から GTP への置換、そして G タンパク質とエフェクターの相互作用に必須です。

研究分野

-

画像データ



Jurkat 細胞溶解物中の GNB2 発現のウェスタン ブロット分析。

すべてのレーンでは、抗体を 1:1K に希釈して室温で 1 時間使用します。

